

	A	B	C	D
1				<様式111-1>
2		令和3(2021)年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書
3				松ヶ崎児童館
4		活動の基本目標(指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
5	生活 援助 機能		出欠確認・子どもたちの行動状況の把握	出欠を確認し、連絡なしに欠席した児童の保護者に確認をとる、登館時間の遅い児童に事情をきくなどすることで、児童の行動や安全を把握することができた。また、連絡帳入れのカゴ、帰りの会を行う場所をクラス別にすることで、子ども達にクラスを意識付けることができた。
6		安全・衛生の確保	学校への1年生のお迎え	登館経路の確認や交通安全の指導をするともに、会話を通して子どもたちの様子を知ることができた。
7			学校からの集団登館指導	1年生に関しては、登館時友達とトラブルになることも多かったが、学校の協力もあり、年度末によく落ち着いて登館出来るようになってきた。2年生以上はクラスで終業時間の違いがあるため、クラスごとにまとまって登館するよう指導している。2年生は居残り勉強をする子がおり、バラバラに登館することも多かった。
8			集団下館・交通安全指導	年度始めには、職員が付き添い、それぞれのコースの子どもたちに経路・交通ルールの指導をすることや、各児童の住んでいる場所や位置関係、雰囲気を知ることができた。また、方面ごとに集団下館をすることで、家の近くまで複数で帰ることができた。しかし、慣れるにつれて、児童館を出てすぐにばらばらになってしまったり、寄り道をしているとの報告も受けた。また、保護者から、帰ってこないとの連絡や他の児童の家にいることが数件あった。下館については、全体や個別に話をしたが、今後も注意深くみていく必要がある。地域に新しく橋ができたため、集団帰り時に職員が送っていくようにする。
9		健康の管理・情緒の安定		
10		基本的生活習慣の確立	手洗い・うがい・手指消毒指導	おやつ前の手洗い・手指消毒は実施できている。それ以外の場面でのうがいや手洗いは習慣づいておらず、今後も声掛け等の指導を行う必要がある。
11		社会生活技術の獲得	あそびのルールや後片付けの徹底	年度始めはきちんとルールを守り、遊んでいたが、慣れてきた頃になるとルールを忘れてしまったり、守れなかったりする姿もあった。お迎えに来られてもすぐに用意が出来ない児童が付いたため、5時以降の過ごし方についても再度職員間でルールを確認し、子ども達に伝えと共に、声掛けも徹底した。片付けについては、遊びによっては5分早く声掛けをする等、早目の対応をすることで目立って気になる点は無かった。ルールについては子ども達にわかりやすいように掲示し、視覚的にルールを意識できるようにした。
12			あいさつの励行	1年生に関しては、自らあいさつしてくれる姿が多かったが、2・3年生に関してはあいさつする姿が少なかった。今後も、自主的にあいさつができるようにこちらからのあいさつを繰り返していく必要がある。
13			連絡帳提出のよびかけ	年間を通して、子ども達の意識は高かったように思う。しかし、休み明けなどに忘れる子がいたため、引き続き声かけを行っていく必要がある。
14			おやつ提供	苦手なものについても少しでも食べられるよう促すことで、克服できた子どももいた。また、マナーや行儀について、指導する機会となった。歯列矯正の子への配慮としても必要に応じておやつを交換した。コロナ対策として、人数制限を行い、食べるおやつも1つに減らし、もう1つは持って帰るようにする。
15			学習時間	学校休業中(夏・冬・春休み)は毎日45分設定し、クラスに分かれて座り学習に取り組んだ。決められた時間内に集中して取り組むことができ、遊びの時間とのメリハリをつけることができた。
16			アレルギー対策	アレルギー表を作成し、誰が何のアレルギーを持っているかを管理・把握し、必要に応じておやつを交換した。重度の子に対しては保護者と相談の上、食器の取り扱いや周りの子どもたちへの声かけなども注意して行った。エビペン持参のため取り扱いや保管についても全職員で共有した。
17			3年生会議	毎月の目標を月始めに考え、目標達成に向け帰りの会等で成果を聞いた。お別れ遠足に向けて話し合いを行う。お別れ遠足ではしおりを作成し、自分たちで楽しもうという気持ちのもと、子どもたちも自主的な動きがみられた。
18			入会式	コロナウイルス感染拡大防止の為、2部に分け分散して会を進行する。
19	生活体験の拡大	クラス行事	3年生に歓迎の言葉を言ってもらうなど、節目を感じる行事になった。クラスの交流を目的に、月ごとにみんな遊びや児童館行事など、様々な取り組みを行うことができた。	
20	子 ども 育 成 機		お誕生日会	プレゼントを渡すだけでなく、誕生月の子にインタビューをし、「行事」として子どもたちが楽しめるようにしている。誕生月の子に「誕生日の日と年齢」及び「これから頑張りたいこと」などみんなの前で話してもらうことで今後の抱負や自分自身の誕生を確認する機会にもなっている。人前に出ることが苦手な子も頑張って話している姿もあり、良い経験となっている。回数を重ねるごとにみんなを盛り上げようという意識が出てきた。また、今年度はコロナ対策として、クラスごとに実施し、人数を分散させた。
21			ブロックまつりに向けて練習	コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
22			草引き	コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
23			左京・東山児童館学童保育所まつり	コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
24			きりえ週間	今年度は夏休みのみ実施。作品を仕上げることの楽しさを感じながら、集中力を養い、カッターの扱い方も学ぶ。

	A	B	C	D	
25	能	社会性の養成	ランチDAY	長期休業中に取り組むことで、毎日の生活に変化を持たすことができ、子どもたちの仲間意識の構築にもつながった。また、保護者からはお弁当づくりの負担軽減になり、助かっているとの声が多数あり、好評である為、回数については今後検討する必要がある。コロナ対策のため、調理は行わなかった。	
26			館外活動「子どもの楽園」	コロナウイルス感染拡大防止の為、中止	
27		学童クリスマス会	帰りの会時に保護者会の方に協力いただき、サンタさんの格好をして登場していただく。その後保護者会のかたよりプレゼントをいただく。		
28		3年生お別れ遠足	3年生の修了の記念に、学童クラブ児童で「子どもの楽園」へ出かける。当日のおやつなども自分たちで管理してもらう。コロナ対策のため移動時、消毒などコロナウイルス感染拡大防止の徹底を図る。		
29		自立の促進と自主性の尊重	修了式	学童での生活のけじめとなる行事であるため、子どもたちにもけじめをつけるという意識が持てるよう練習を行い、全体の雰囲気を作っていく必要がある。	
30			保護者懇談会	コロナウイルス感染拡大防止の為、中止	
31		個人懇談会	今年度も、全世帯対象にしたことで、各児童の様子を保護者と共有することができ、保護者と共に子どもを支援する体制づくりにつながった。次年度は5月については希望者対象に実施する。		
32		介助者会議	児童館側からは、障害のある児童の特性、また館の方針等を伝え、介助者の方からは、悩みや思いを聞くことができた。今年度は3回実施した。今後も必要に応じて開催し、館と介助者及び介助者同士の関係作りの機会としていきたい。児童の様子や対応について共有することができた。		
33		子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	入会説明会	学童クラブについて、直接保護者の顔を見ながら説明し、理解してもらうことができた。また、入会前に保護者同士、保護者と職員が顔を合わず良い機会となった。
34					
35					
36					
37					
38	子育ての仲間づくり				
39					
40					
41					
42	子育てを支えるネットワーク形成				
43					
44					
45					
46					